

# 作業補足シート

3 : 5 9

分野	配線施工	作業名	ケーブルの通線
目的	OA フロアの床下に LAN ケーブルを通線する。 通線にあたっては、ケーブル挿入位置と引き出し位置のパネルのみを外し、通線器を用いて通線する。		
工程	ポイント		時間 (再生位置)
1. 位置決め	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルを引き上げる位置を確認する。必要に応じて立ち上げ位置に印を付ける。</li> </ul>		0 : 2 0
2. カーペット及びフロアパネルを外す	<ul style="list-style-type: none"> <li>床下にアクセスするため、床のパネルを取り外す。</li> <li>カーペットとパネル連結部は、それぞれの隙間にマイナスドライバ差し込み持ち上げて外す。</li> <li>外したカーペット等は、作業の邪魔にならない場所に置く。</li> <li>通線するケーブルの数が少ない場合、入口と出口のパネルのみを取り外すが、線数が多い場合は、通線されるパネルをすべて取り外すことで効率よく作業ができる。</li> </ul>		0 : 3 1
3. 通線器を通す	<ul style="list-style-type: none"> <li>通線にあたっては、通線する出口側に人を配置し、入口より挿入した通線器の先が出口側に出た合図があるまで通線器を送り続ける。</li> <li>他の障害物により通線しにくい場合があるため、あらかじめ床下コンセントや電源線などの位置を確認しておくといよい。</li> </ul>		1 : 1 5
4. 通線器にケーブルを取り付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>通線器の先端（リーダーヘッド）にケーブルを PVC テープでしっかりと固定し、取り付ける。</li> <li>通線中に他の障害物に引っ掛かり等が発生しないように、巻き付ける方向や PVC テープの切り残しが無いように注意する。</li> </ul>		1 : 3 8
5. 通線器を引き戻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>通線器を引き戻すときは、ケーブルに無理な張力がかからないよう、通線器をゆっくりと引く（巻き戻す）と同時にケーブル挿入側もケーブルの送り出しをする。</li> </ul>		2 : 0 8
6. ケーブルの引き上げ	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーブルが出口に到達したらケーブルを引き上げ、通線器から PVC テープを外す。</li> <li>ケーブルが床下引き戻されることが無いよう、必要な長さを引き伸ばしておく。</li> </ul>		2 : 1 9
7. カーペット及びフロアパネルを戻す	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り外す手順とは逆の手順でパネル及びカーペットを元に戻す。</li> <li>ケーブルがフロアパネルに挟まるなどしないように、複数人で</li> </ul>		2 : 5 2

す	分担し作業する。	
8. カーペット に切込みを 入れる	・ ケーブル立ち上げ位置のカーペットを十字に切り込みを入れる ことで、カーペットの浮きなど抑えることができる。	3 : 2 2
使用器具	通線器 (ケーブルキャッチャ、ネグロス工 RHS15)、マイナスドライバー、ハサミ (カッター)	
使用材料	Cat.6 UTP ケーブル、PVC テープ	
最終更新日		2022/03/07